PART2　練習問題解説

問一　「根を深み」の現代語訳として最も適当なものを一つ選べ。

1　根が深くなければ
2　根を深く掘り
3　根を深くすれば
4　根が深いだろう
5　根が深いので

問二　傍線部①・②について、それぞれ基本形を示したうえで、活用の種類・活用形として適当なものを次の中から選べ。

「せむ方①なかりければ、…」
「ある小家の②あやしげなるに立ち寄りて、…」

〈活用の種類〉
a　四段活用　b　下一段活用　c　下二段活用　d　ラ行変格活用　e　ナ行変格活用
f　ナリ活用　g　タリ活用　h　ク活用　i　シク活用

〈活用形〉
ア　未然形　イ　連用形　ウ　終止形　エ　連体形　オ　已然形　カ　命令形

①　　・　　・
②　　・　　・

問三　「同じ心なる友なくてただひとり眺むるは、いみじき月の光もいとすさまじく、見るにつけても恋しきこと多かるこそ、いとわびしけれ」の文中に形容詞はいくつ用いられているか。正しい数を次の中から選べ。

ア　3　イ　4　ウ　5　エ　6　オ　7　カ　8

第３講　PART２　確認問題

①「苦を粗み」の現代語訳として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　苦が粗いので　イ　苦が粗くなければ
ウ　苦を粗くすれば　エ　苦が粗いだろう

②「風をいたみ」の現代語訳として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　風を激しくすれば　イ　風が激しいだろう
ウ　風が激しいので　エ　風が激しくなければ

③「舎人(とねり)の顔のきぬもあらはれ、まことに黒きに、白き物いきつかぬ所は、雪のむらむら消え残りたるここちして、いと見苦しく、…」の文中に形容詞はいくつ用いられているか。最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　３　イ　４　ウ　５　エ　６　オ　７　カ　８

④「文ことばなめき人こそいとにくけれ。世をなのめに書き流したることばのにくきこそ。さるまじき人のもとに、あまりかしこまりたるも、げにわろきことなり。」の文中に形容詞はいくつ用いられているか。最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　３　　イ　４　　ウ　５　　エ　６　　オ　７　　カ　８

⑤ 傍線部について、基本形・活用の種類・活用形の組み合わせとして最も適当なものを、次の中から選べ。

「これを主とうち頼みまゐらせて、さぶらはむずるか。」と、たのもしげなきぞあはれなる。

〈基本形〉

i　あはれなら　　ii　あはれなり　　iii　あはれなる　　iv　あはれなれ

〈活用の種類〉

a　四段活用　　b　ラ行変格活用　　c　ナリ活用　　d　ク活用

〈活用形〉

１　連用形　　２　連体形　　３　終止形　　４　已然形

ア　i・b・２　　イ　i・d・４　　ウ　ii・a・３　　エ　ii・c・２

オ　iii・a・１　　カ　iii・b・３　　キ　iv・c・４　　ク　iv・d・１

第３講　PART２　解答

問一　５

問二　①　なし・h・イ　　②　あやしげなり・f・エ

問三　オ

第３講　PART２　確認問題　解答

〔解説〕

①　形容詞の語幹用法は「訳し方」を覚える。「ＡをＢみ」＝「ＡがＢなので」。よって、アが正解。

②　形容詞の語幹用法は「訳し方」を覚える。「ＡをＢみ」＝「ＡがＢなので」。よって、ウが正解。

③　形容詞は性質や状態を表す。「黒き」はク活用・連体形。「白き」はク活用・連体形。「見苦しく」はシク活用・連用形。よって、アが正解。

④　形容詞は性質や状態を表す。「なめき」はク活用・連体形。「にくけれ」はク活用・已然形。係り結びに注意。「にくき」はク活用・連体形。「わろき」はク活用・連体形。よって、イが正解。

⑤　「あはれなる」は形容動詞。基本形は「あはれなり」で、ナリ活用である。傍線部の上に「ぞ」があるので、係り結びが生じている。以上より、活用形は連体形である。よって、エが正解。

〔解答〕

①　ア　②　ウ　③　ア　④　イ　⑤　エ